

酒田市社会福祉協議会会報 (全戸配布)

ふれあい

第28号
平25.10.15

題字・川口遊魚さん



写真は昨年の出発式の模様です



赤い羽根共同募金がはじまりました



もくじ

- 酒田市社会福祉協議会 会長 あいさつ 2
- 共同募金・歳末たすけあい募金にご協力願います 3
- がんばってます!酒田ボラバネットワーク 4~5
- 東日本大震災避難者生活相談支援事業報告 6
- 平成24年度酒田市社会福祉協議会決算報告 7
- おしらせ 8

会報「ふれあい」は 赤い羽根共同募金の助成により発行しています。



社会福祉法人酒田市
社会福祉協議会
会長 阿部 直善

市民の皆様には、日頃より酒田市社会福祉協議会にご支援、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。心からお礼申し上げます。

私は、去る六月の当協議会理事会において、会長に選任されました。地域の福祉環境の向上を目指し、一生懸命頑張ってまいります。加藤前会長同様、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本市では今、高齢化率が三十%を超え、一人暮らしや夫婦世帯など、高齢の方だけで生活されている人数も一万人に達しております。このまま高齢化が進めば、買い物や通院などの外出、それに、ちょっとしたことでは電球の交換や灯油詰めなど、日常生活の様々なことに困ってしまう方々が多くなるのでは、と心配しております。

協議会ならではの役割だと認識

また、孤独・孤立死の防止、

災害や悪質商法対策、金銭管理等々、生命と財産に関わる権利擁護も、ますます大きな課題になつていくものと思います。

もちろんこれらは、高齢者に限ったことではありません。障がい者をはじめ、いろいろなハンディを抱えておられる方々にも共通する課題です。

私は、こうした地域の様相を見るにつけ、当協議会として、これまでの事業の枠を越えて、もう一步前に踏み出すべき時期じております。なぜならば、介護や福祉の公的サービスではどうしてもカバーできない領域があり、そこに発生する個人や地域の問題の解決にチャレンジすることこそ、民間福祉団体であり、公的性質も有する社会福祉

しているからです。

当協議会は、こうした認識の下、市をはじめ様々な機関や団体と連携しながら、地域住民の皆様と地域課題を共有してその解決のための処方箋を描き、地域での新たな支え合いの仕組みをつくっていくことを追求してまいります。

最近、「微力ではあつても無

力ではない」という趣旨の文章を目にしました。確かに、一人ひとりは微力かもしません。

しかし、決して無力ではないは

じております。なぜならば、介護や福祉の公的サービスではどうしてもカバーできない領域がありますとともに、市民皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

くになると私は信じます。

十月一日からは、市民皆様による支え合いの元祖とも言うべき赤い羽根共同募金運動が始まっています。昭和二十二年から数えて六十七回目となるこの伝統ある運動に、どうか多くの方々からご参加いただき、善意をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

結びに、当協議会へのご支援、ご協力を引き続きお願い申し上げますとともに、市民皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



私たちには、微力ではあつても無力ではない



赤い羽根共同募金がスタートしました!! ご協力をまねがいします

運動期間 10月1日～12月31日

平成25年度 目標額

12,864,000円

今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まりました。

昭和22年から始まった共同募金運動は今年で67回目となり、皆様の善意による募金は、本市の地域福祉活動に活かされています。

おかげさまで、昨年度は14,219,785円の募金が集まりました。市民の皆様による支え合いの活動に、今年もご協力をお願いいたします。

平成24年度は次の事業や活動に助成されました

- ◇浜中保育園 地域の方々との交流事業
- ◇十坂保育園 世代間交流事業
- ◇北平田保育園 大運動会事業
- ◇小鳩保育園 老人等世代間交流事業
- ◇宮野浦保育園 園児等の「福祉の心」を育成する事業
- ◇泉保育園 老人クラブとの交流事業
- ◇西荒瀬保育園 祖父母との交流、畠活動、人形劇鑑賞他
- ◇黒森保育園 仲良しクラブ事業
- ◇亀ヶ崎保育園 老人等世代間交流事業
- ◇北新橋保育園 みんなで遊ぼう会事業
- ◇NPO法人ふれあい工房 パソコン購入
- ◇すまいるらんどA エアコン整備事業
- ◇すまいるらんどB エアコン整備事業
- ◇みらいす エアコン、プリンター
- ◇などの花畠 作業台購入
- ◇竜城・港南学童保育所 プロジェクター、スクリーン整備事業
- ◇松陵学童保育所 発電機、教材購入事業
- ◇泉学区第2学童保育所 ままごとセット、パソコン、椅子購入
- ◇十坂学童保育所 TV、DVDプレーヤー整備事業
- ◇若浜学区学童保育所 一輪車、マット、ままごとセット購入
- ◇スワンの会 グループ活動学習事業
- ◇松原学区社会福祉協議会 人と人との絆物語事業（作文コンクール）
- ◇ちようかい子育て応援団 おててつなごう事業
- 酒田市老人クラブ酒田支部 地区研修事業
- 酒田市老人クラブ八幡支部 こものづくり講習会事業
- 酒田市老人クラブ松山支部 スポーツ大会、福祉講座事業
- 酒田市老人クラブ平田支部 相互支援事業
- 酒田市身体障害者福祉協会 スポーツ大会・

- 文化祭事業
- 八幡身体障害者更生会 スポーツレクリエーション事業
- 松山身体障害者更生会 会員研修会事業他
- 平田身体障害者福祉協会 あいあいサロン事業他
- 酒田市手をつなぐ育成会 家族支援プロジェクト及び意見交換会
- 八幡手をつなぐ育成会 会員研修事業
- 松山手をつなぐ育成会 ふれあい教室事業
- 酒田飽海鍼灸マッサージ師会 高齢者に対する治療ボランティア事業
- スワンの会 グループ活動事業
- ワークショップヤッホー 小規模作業所支援事業
- たぶの木学園 小規模作業所支援事業
- あすなろ福祉会 ランチョンマット作製事業
- NPO法人あらた 小規模作業所支援事業（配食サービス事業）
- NPO法人ふれあい工房 小規模作業所支援事業（牛乳パックを再利用しての紙すき作業）
- 酒田市学童連絡協議会 全国学童保育指導学校研究集会参加事業
- 酒田市母子福祉ねむの木会 入学・進級を祝う会
- 酒田こどもまつり実行委員会 酒田市こどもまつり事業
- 酒田報恩会保育園 お地蔵さま祭り事業
- 新堀保育園 地域高齢者との交流事業
- 十坂保育園 福祉の心育成事業
- 浜中保育園 畠活動事業
- 北平田保育園 人形劇鑑賞事業、ゆうぎ発表事業
- 黒森保育園 世代間交流事業
- 若宮保育園 七夕お楽しみ会
- 中平田保育園 ちゅうりっぷだより発行事業
- 亀ヶ崎保育園 地域高齢者との交流事業、

- いも煮会交流事業
- 小鳩保育園 地域高齢者との交流事業、いも煮会交流事業
- 広野保育園 福祉の心育成事業、地域高齢者との交流事業、いも煮会交流事業
- 鳥海保育園 マイ夢の里夏まつり事業
- 西荒瀬保育園 福祉の心育成事業
- 泉保育園 親子運動会
- 北新橋保育園 親子運動会
- 宮野浦保育園 施設を訪問しての老人との交流事業
- 月見ヶ丘保育園 地域交流保育園運動会事業
- 酒田市ボランティア連絡協議会 ボランティア研修事業
- 八幡ボランティア連絡協議会 会員交流研修事業、庄内出羽人形芝居観賞会事業
- 平田ボランティア連絡協議会 ひらたボランティアまつり事業他
- 酒田市遺族会 酒田市遺族会事業
- 酒田市八幡遺族会 戦没者慰靈事業
- 酒田市松山遺族会 遺族会運営事業
- 酒田市平田遺族会 北俣地区慰靈事業
- 酒田市自治会連合会 自治会長研修会事業
- 酒田市民生委員・児童委員協議会連合会全体研修会、単位民協研修会事業
- 酒田市八幡民生委員・児童委員協議会 研修会事業
- 酒田市松山民生委員・児童委員協議会 運営事業
- 酒田市平田民生委員・児童委員協議会 一人暮らし高齢者交流事業
- 酒田市電気工事協同組合 一人暮らし高齢者電気保安点検事業
- 八幡ごろにやんくらぶ 子育てサロン支援事業
- 酒田市社会福祉協議会 地域福祉事業

※△A助成 県共同募金からの助成
○B助成 酒田市社協からの助成

がんばつてます 酒田ボラバスネットワーク

未曾有の東日本大震災から二年半以上がたちましたが、復興の道のりは遠く、まだまだ多くの支援が必要とされています。

そのような中、粘り強く支援活動を継続されているのが「酒田ボラバスネットワーク」の皆さんです。

酒田市社協では、平成二十三年四月から十二月までの間、石巻市を中心に、十九回にわたって福祉バスを利用した「災害ボランティアバス」を運行してきました。

その後、翌年六月に、支援活動に参加された方々から集まつていただきて「ボランティア交流会」を開催し、今後の支援の方などを話し合いました。その結果、社協主催での活動は休止するとしたものの、「被災地でボランティアができることがある」という意見を踏まえ、現地へ行くための福祉バスを社協が手配することにしました。

それを受けて、八人の発起人により昨年七月に発足したのが「酒田ボラバスネットワーク」です。

「酒田ボラバスネットワーク」には代表者はいません。その理由は、参加者の自主性を尊重してのことだと事務局の小野仁さんが話してくださいました。

最初は参加者がいるだろうかと心配しましたが、月二回のペースで合計十回、延べで百三十人とのボランティアが、福祉バスを利用して宮城県七ヶ浜町海岸、畑地のがれきを取り除く作業などを行いました。

本年度の活動は、昨年半ばから引き続き仙台市若林地区「二木、三本塚、荒浜、長屋敷」地内での畑地がれき撤去作業による「畑の復旧」に関わっています。きっかけは、震災復興、地域支援グループの「リルーツ」を紹介していただいたことで始まりました。「リルーツ」は、「一日でも早く野菜作りを再開

したい」という個人農家の支援活動をメインに、地元に根付き、密着して活動をされているグループです。メンバーは、代表の方以外は全員学生さんです。

震災直後の光景を記憶の方は多いと思いますが、現在は相当にがれきの撤去などが進んでいます。特に田んぼは、重機が入り田植えができるまでに復興していく、震災直後からは想像もつかないほどになっています。

畑の再生については、農業法人や組合など、グループ化が進み、復興に向けて着々と歩み始めています。反面、個人農家では多くの問題を抱えていることがあります。高齢化、後継ぎ、人手など活動をメーンに、地元に根付いており、農業を再開する個人農家の多くは、農業を継承する個人農家の受けられないため農業を諦めた人もいたそうです。酒田ボラバスネットワークはそうした個人農家の手伝いをする作業を行っています。

活動日は土日で、今年は十六



2013.05.18(土) 仙台市若林区荒浜地内

▲畑のがれき作業をする酒田ボラバスネットの皆さん

震災復興・地域支援
リルーツ
ReRoots
<http://reroots.nomaki.jp/>

※リルーツ
震災復興・
地域支援サークル
H24.10.16付け
社団法人化

今回の活動を計画しています。ボランティア当日は、福祉バスで朝六時出発。作業開始は九時三十分頃、昼食をはさみ午後三時頃に終了します。参加人数は十人から多い時で十六人になることもあります。参加者の年齢も二十代から七十年代と幅広く、次の日には勤務という人もいて「頭が下がります」と事務局の小野さんはおっしゃいます。

参加される方は、「震災の地に行つて何かしたいが個人では行けない」という方も多いと思います。それが実際にボラバスに参加して被災地に行き、硬い地面をスコップで掘り返し、ガラスや石などを取り除く作業をしてみて、作業した畑が植え付けやその準備がされているのを

見て「活動をしてよかったです」「また来よう」という気持ちが高まつていくそうです。



活動には、ほぼ毎回新規参加される方がいます。多くの方々がリピーターになられて複数回参加していることが「酒田ボラバス」活動継続の大きな原動力となっています。

東日本大震災では多くの方が亡くなられました。酒田ボラバ

スネットワークでは、慰靈塔のある荒浜地区内で作業した折には、帰りに慰靈塔にお参りしています。しかし時の流れは留まることを知りません。大変なが

れきの山だった被災地も復興に向けて一歩一歩動いていますが、反面悲しみは癒えず、今でも大変なご苦労をされて生活されている皆様がいらっしゃいます。

このことを風化させないことが大切です。酒田ボラバスネットワークは、「自分ができること

を続けたい

という同じ想

いをもつてい

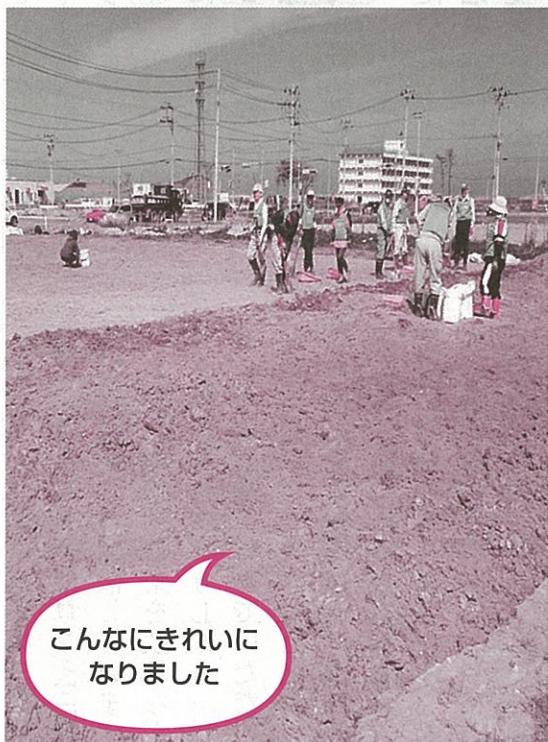
る人が結集し

たグループで、

誰かに誘われ



いつしょに活動するボランティア募集中です



今後の活動予定日

10月27日(日) 11月9日(土)
11月24日(日) 12月8日(日)

6時出発～19時頃帰着予定
集合場所：地域福祉センター前

活動場所：仙台市若林区

定 員：15名

参 加 費：1,000円

◎健康に不安がない

20歳から60代位までの方

[問合せ先]

酒田ボラバスネットワーク

事務局（小野）

電話・FAX 24-8538

メール run-h@jewel.ocn.ne.jp

たからではなく、自らの意志で活動を続けています。こうした活動が大震災を風化させないとつながると思います。
事務局は「毎回ボランティアバスを用意しているだけで特別

なことをしているわけではありません」と話されます。
■ いつしょに活動するボランティアを募集しています。詳しくは左記事務局までお問い合わせください。

東日本大震災避難者生活相談 支援事業について報告いたします

前号の会報ふれあい第二十七号で紹介しました「東日本大震災避難者生活相談支援事業」の取組状況をお知らせします。酒田市への避難者世帯は、本年八月末現在で百四十三世帯・三百三人（市役所調べ）となっています。

酒田市社協では、四月中旬、各世帯に生活支援相談員の訪問についてアンケート調査を実施しました。回収率は二十一%で、うち半数が「訪問を希望しない」という回答でした。その理由として「震災後三年目に入り、生活基盤が整っている」「特に困っていることがない」「仕事をしているので時間がない」等があげられました。

見えてきた課題

●生活環境の違いに不安を感じる。
 ●大震災から二年を経過したことからこそ、もっと外とのつながりを持ちたい。

●岩手県、宮城県からの避難者が交流する機会が少ない。
 ●避難の長期化に伴う様々な負担増の不安がある。

というような課題を抱えておられることが、少しずつですが見えてきました。しかし、それぞれのご家族あるいはお一人おひとりの立場や背負つておられるものは、みんな違うはずです。

このことを常にわきまえて、きちんと考へています。

酒田市社協では、四月中旬、各世帯に生活支援相談員の訪問についてアンケート調査を実施しました。回収率は二十一%で、うち半数が「訪問を希望しない」という回答でした。その理由として「震災後三年目に入り、生活基盤が整っている」「特に困っていることがない」「仕事をしているので時間がない」等があげられました。

訪問活動の大切さ

交流会やイベントとして次のような企画を実施しました。

★酒田まつりをいつしょに楽しもう（五月）

★なみえ焼きそば交流会（八月）

★その他、今後開催予定なものとしては「そばうち体験会」があります。

交流会では就職相談も

例えれば、
 ■交流会等に参加してくださる方が少しずつ増えたこと。
 ■訪問した際に、年配のご夫妻が「しばらくぶりに家族以外の人と話した」という感想を話してくださいましたこと。
 ■日中何か活動を希望される方に情報提供させていただいたところ、ボランティア活動を始められたこと。
 などがあります。

交流会やイベントに参加していただきことで、相談員自身も今まで面識の無かった人と話をする機会ができてきました。

連絡先 酒田市社会福祉協議会

23-5765 池田・伊藤まで

をとしていきたいと考えています。

向やお気持ちに寄り添った応援

をしていきたいと考えています。

難元の地元紙を読んでいただい

たりしながら交流するとともに、福島県の避難者支援や就職応援

担当者、酒田市の担当者からお出でいただいて、いろいろな相

談に乗っています。

これからも、それぞれのご意

向やお気持ちに寄り添った応援

をしていきたいと考えています。

この会では、お茶を飲みながら気軽におしゃべりしたり、避

なつながりや交流の輪が広がりつつあるからです。

また、五月から毎月第三火曜日に「こんにちのサロンWi-Fi避難者相談会」を開催しています。

この会では、お茶を飲みながら気軽におしゃべりしたり、避

なつながりや交流の輪が広がりつつあるからです。



▲なみえ焼きそば交流会：港南コミセン

平成24年度 酒田市社会福祉協議会決算報告書

平成25年5月23日開催の理事会、評議員会で「平成24年度酒田市社会福祉協議会決算書」が承認されましたのでお知らせします。

皆様からご協力いただいた会費収入は、全額地域福祉推進事業に充てられ、人件費は経常経費補助金収入、受託金収入等でまかなわれています。

各事業の実施にあたりましては、市民の皆様、行政機関、自治会、民生児童委員、福祉団体、ボランティア団体などの皆様から多大なご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

◆収入

単位：円

項目	決算額	割合	備考
会費収入	16,309,750	3.6%	地域福祉推進事業に全額を充てています
寄附金収入	323,575	0.1%	市民や団体からの寄附金
経常経費補助金収入	99,813,070	21.9%	山形県社協と酒田市からの補助金
交付金収入	450,000	0.1%	国からの雇用開発助成金交付金
受託金収入	34,880,437	7.6%	酒田市と山形県社協からの受託金
事業収入	2,365,837	0.5%	福祉サービス利用援助事業利用者からの負担金
共同募金配分金収入	11,918,103	2.6%	一般と歳末たすけあい募金配分金
介護保険収入	230,693,567	50.5%	介護保険事業にかかる収入
自立支援費等収入	17,449,039	3.8%	障がい者自立支援給付収入
基金取崩額	1,736,810	0.4%	社会福祉基金の取崩収入
引当金戻入	5,338,362	1.2%	退職給与引当金戻入額
雑収入・その他	35,253,955	7.7%	経理区分間繰入及び利息収入等
合 計 (A)	456,532,505	100.0%	

◆支出

単位：円

項目	決算額	割合	備考
法人運営	108,815,188	25.1%	社会福祉法人の運営経費
地域福祉センター管理運営事業	6,519,113	1.5%	施設の維持管理経費
老人福祉センター運営事業（やまゆり荘）	1,795,688	0.4%	施設の維持管理経費
地域福祉推進事業	22,771,000	5.3%	新・草の根事業、平和記念のつどい等
福祉バス管理運営事業	8,834,455	2.0%	車輌費、燃料費、業務委託費
共同募金配分金事業	11,918,103	2.8%	配分金収入で行う事業
社会福祉基金事業	2,957,677	0.7%	地域福祉基金への積立等
福祉サービス利用援助事業	4,493,798	1.0%	生活相談や金銭管理支援を行う事業
生きがい活動支援通所事業	1,123,736	0.3%	八幡地区ミニデイサービス事業
生活福祉資金貸付事業	4,223,200	1.0%	各種資金相談と手続き業務の経費
ボランティアセンター事業	5,386,158	1.2%	ボランティア支援に係る業務経費
法人後見事業	178,030	0.0%	成年後見事業を法人として受任する経費
地域包括支援センター事業	35,862,358	8.3%	高齢者とその家族のための総合相談業務
介護保険事業	217,920,329	50.4%	訪問介護・居宅介護支援・デイサービスの経費
合 計 (B)	432,798,833	100.0%	

収入(A)456,532,505円－支出(B)432,798,833円＝次期繰越活動収支差額 23,733,672円

※次期繰越活動収支差額は、主に介護保険事業にかかる収支によるものです。

おしらせ

◆歳末たすけあい色紙・樂焼展

芸術品を創作されている市民の方々から、色紙・樂焼などの作品をご寄附いただき、市民皆様の入札による益金を歳末たすけあい激励金として助成する「歳末たすけあい色紙・樂焼展」を開催します。皆様の温かいご協力をお願いします。

- 期 間 12月10日(火)から
12月16日(月)まで
- 場 所 酒田市総合文化センター1階
(モール)
- 問合せ 酒田市社会福祉協議会まで
0234-23-5765

◆共同募金応援コンサート

赤い羽根共同募金は、やさしい気持ちを集める活動です。市民のやさしさ、声かけ、行動が、きっとまちを変えていく初めの一歩となるはずです。音楽と書道パフォーマンスを楽しみながら、コンサートに参加することでどなたでも参加できる共同募金運動を応援してみませんか。

- 日 時 平成25年12月8日(日)
13時30分から
- 場 所 酒田市地域福祉センター
新橋二丁目1番地の19
- 出演者 友近やっくん（シンガーソングライター・書道家）による歌と書道パフォーマンス、他地元音楽グループが出演

※くわしいことは酒田市社会福祉協議会ホームページ
その他でおしらせいたします。

酒田市社会福祉協議会

(地域福祉センター内)

酒田市新橋二丁目1番地の19

☎23-5765 FAX24-6299

<http://www.sakata-shakyo.or.jp/>

八幡支部 64-3765 FAX61-1214

松山支部 62-2843 FAX62-2841

平田支部 52-2260 FAX52-3727

◆心配ごと相談

毎月第1・第3・第5火曜日

●時 間 午前9時～正午

●場 所 酒田市地域福祉センター
新橋二丁目1番地の19

●電 話 0234-23-5765

相談員は人権擁護委員です。相談は無料、秘密は守られます。

◆あたたかい♥ご寄附ありがとうございました

●酒田市社会福祉協議会への寄附

- ・匿名 2,500円
- ・平田歩こう会様 47,688円
- ・株ダイナム酒田泉店様 玩具・日用品
- ・酒田飽海建設総合組合八幡支部
(代表) 土井勝則様 29,687円
- ・匿名 5,000円
- ・東泉町 竹内秋一様 車椅子1台
- ・酒田市麓字荒町 信夫紀美子様 300,000円
- ・酒田飽海建設総合組合

酒田大工支部連合会様 13,310円

- ・匿名 5,000円
- ・緑ヶ丘 小林ヒデ様 軽自動車1台
- ・匿名 お米5kg
- ・匿名 2,500円
- ・匿名 5,000円

●指定寄附（ワークショップヤッホーへ）

- ・太熱工業(株)様 100,000円

※平成25年4月から8月末現在



酒田市社会福祉協議会 会報ふれあい新任編集委員

今野高志
小野琴美
片桐晃子

伊藤和子
村山さち子
佐藤富雄

